

しょうがっこうをおくる会様



プラン特別プロジェクト
ベトナムにおける小学校建設プロジェクト
【完了報告書】



ベトナムの子どもたち

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
2017年5月22日

本資料の内容

◆プロジェクトの背景

◆プロジェクトの実施内容・成果

■プロジェクトの活動地

本プロジェクトは、ベトナム ハザン省ホアンスフィ郡バンルオック コミューン、ミンガ村で実施しました。



【プラン・インターナショナルのベトナムでの活動】

- ・プラン・インターナショナルは、ベトナム戦争の影響で1975年にベトナムでの活動を停止した後、1993年から北部のナムハ県において活動を再開。
- ・現在は北部と中部の合計10の活動地域で、住民参加型開発活動に取り組む。

■プロジェクト実施地域の概況

【ベトナムの教育における課題】

近年の経済成長により、教育環境が整備され国全体の子どもの就学率は上昇している一方で、都市部と農村部における格差は広まりつつある。中でも少数民族が多く住む山岳地域は国の成長から取り残され、学校施設は劣悪な状態で、教育の質も低い。そのため、少数民族が多くを占める農村部の子どもたちは、十分な基礎学力を習得することができず、高等教育を受ける機会が限られている。

【プロジェクト対象地域の状況】

- ベトナム北西部の山岳地帯に位置するフートー省は、省内13県に人口約134万人（約37万世帯）を擁し、1日1.25米ドル未満で暮らす人々の割合を示す貧困率は14%を示している。
- プロジェクト対象チッキのタンソン県タクキエットコミューンは人口3,955人（990世帯）のうち、82%が少数民族で、貧困率は27%に及んでいる。
- 活動予定地のミンガ村は、タクキエット コミューンの中心から約8キロに位置している。

■プロジェクト実施地域の課題

フートー省タンソン県、タクキエット コミューン、ミンガ村の小学校（分校）では、プロジェクト実施以前に、以下の課題に直面していました。

①教室の不足

同校では、5教室を使用して授業を行っていたが、うち1教室は簡易素材で建てられた屋根のみの造りの仮設教室で、強風が吹くと簡単に崩壊する危険があったため、この教室は使用せず、村の集会所を間借りして授業を行っていた。

②備品・教材不足

5教室にある机やいすの一部は破損しており、64人の児童全員が使用することができない。

③図書室の不備

同校には図書室がなく、子どもたちは物語などの書物に触れて読書の習慣を身につける機会がない。また、教科書を持たない子どもたちに貸し出す教科書もない。

④子どもにやさしい運動場の不備

同校に備わっている校庭は、地面がむき出しのうえフェンスが無い。雨が降るとぬかるむ上、子どもたちの安全を確保するのが難しい。



子どもたちが安心して学べる安全で適切な教育施設の整備が必要

本資料の内容

◆プロジェクトの背景

◆プロジェクトの実施内容・成果

■プロジェクトの概要

項目	内容
プロジェクト目標	ミンガ村の分校（タクキエット小学校）において、子どもにやさしい学習環境を整備することにより、同校に通う子どもたちの基礎学力の向上を図る。
実施期間	2016年4月～2017年3月
対象者	タクキエット小学校の児童64人
活動内容	• 教室の建設（1教室） • 教室備品（机、いす、教師用机等）の支給 • 図書室の建設と本、教材の支給 • 運動場の整備

■プロジェクトの経過

プロジェクトは2016年4月に開始し、2017年3月に活動を無事完了しました。

プロジェクトの準備

2016年4月

- しょうがっこうをおくる会様のご支援が決定した後、プラン・インターナショナルは、学校関係者、保護者、自治体関係者を含む地域の人々に、プロジェクトの支援が決定したことを報告、プロジェクト概要と実施方法について説明した。
- 住民参加型でプロジェクトを実施することについて説明を受けた参加者は、子どもにやさしい学校環境を整えるために意見を出し合い、教室、図書室、子どもにやさしい運動場のデザイン、工事の実施時期等について協議した。
- プロジェクトを円滑に進めるため、学校長を委員長とする学校関係者4人からなるプロジェクト実施委員会と、保護者代表と村のリーダー6人からなるモニタリングチームが結成された。



プロジェクトの実施方法について協議するプロジェクト実施委員会メンバー

■プロジェクトの経過

プロジェクトの準備と トレーニングの実施

2016年4月、8月

- 4月、プロジェクト実施委員会は、保護者、教師、村の代表者、コミュニティ代表者、設計会社など計22人が参加する会合を開き、施設の設計条件、モニタリングの実施方法、修繕・維持管理、図書室の運営方法について合意するとともに、それぞれが果たす役割と責任分担について確認した。
- 8月、コミュニティ代表者とプロジェクト実施委員会メンバーを対象に、コミュニティ主体型プロジェクトの運営手法に関するトレーニングを実施。併せて、入札準備と業者選定の進め方に関するトレーニングを実施。



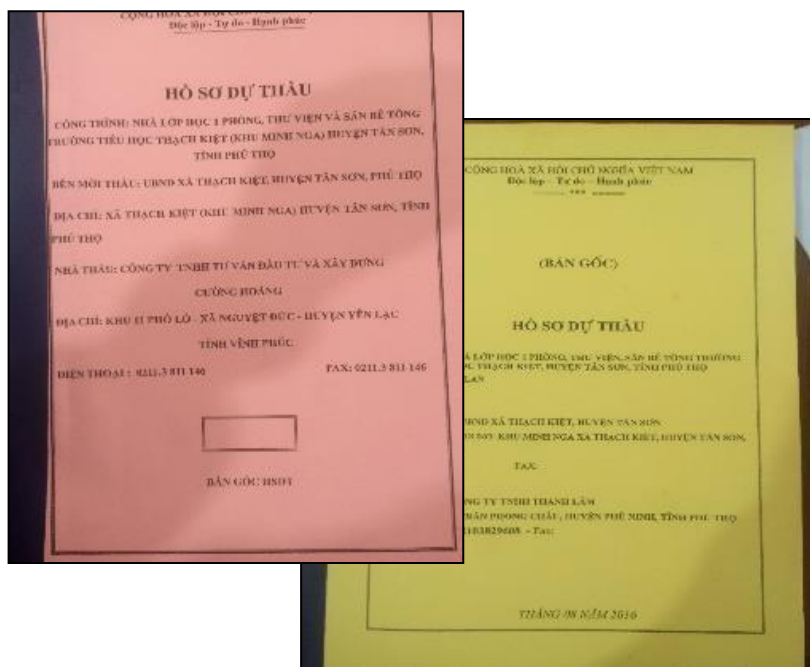
コミュニティ主体型プロジェクトの運営手法のトレーニングを受講するコミュニティ代表者とプロジェクト実施委員会メンバー

■プロジェクトの経過

入札と建設工事

2016年6月、8月、9月

- 6月、プロジェクト実施委員会、設計会社、タンソン県経済建設局、プラン・インターナショナルは、教室および図書室の建設工事と子どもにやさしい運動場の整備を含むプロジェクトの最終案に合意、タンソン県人民委員会からプロジェクト実施に関し承認を得た。
- 8月、地元紙に入札公告を出し、適正な入札手続きの結果、最良の建設業者を決定。
- 9月、教室の建設工事を開始。プロジェクト実施委員会メンバーが定期的に建設現場を訪問し、工事の進捗状況を確認。



3社より入札書類を受領。最低価格を提示した業者を決定



9月より教室の建設工事を開始

■プロジェクトの経過

入札と建設工事

2016年10月、12月

- 10月、プロジェクト実施委員会、コニューンの技術者、プラン・インターナショナルは、屋根の設置工事前に、建物の鉄骨の強度を確認。工事が順調に進捗していることを確認した。
- 12月、為替差益が発生したことに加え、プロジェクト提案時の予算より安価に建設工事を発注できたことで、余剰予算が発生。しょうがっこうをおくる会様にご承認いただき、追加活動として学校の周りにフェンス(70メートル)を設置することを決定した。



工事の進捗状況を確認するプロジェクトスタッフ

■プロジェクトの経過

建設工事の完成と 落成式

2017年1月、2月

- 建設工事が完了。プロジェクト実施委員会、技術者、建設業者、プラン・インターナショナルは、教室(1室)、図書室(1室)、運動場が完成し、教室備品(机35台、いす65脚)、書籍(1180冊)が納品されていることを確認し、タクキエット小学校の校長へ引き渡した。
- 2月24日、しょうがっこうをおくる会から、岡村様、三浦様、北様をお迎えし、落成式を開催。式には、児童64人、保護者40人、自治体関係者10人、教師10人、コミュニティーリーダー 10人、県の代表者など、総勢151人が参列し、プロジェクトの完成をお祝いした。



落成式でのテープカットの様子



落成式にはタンソン県の副知事も参列しました。

■プロジェクトの経過

落成式



ご支援への感謝の気持ちを込めて踊りを披露する子どもたちと保護者

■ 記念プレートの設置



完成した新教室の前で

【記念プレート】



プレート訳：
ミンガ村、タクキエット小学校の本校舎は、しょうがっこうをおくる会様
のご支援により完成しました。
2017年2月

■プロジェクトの経過

図書室



新しく完成した図書館に、1180冊の書籍を支給し、子どもたちは童話や物語など、読書を通じて知識を増やせるようになりました。

■プロジェクトの経過

図書室



新しく完成した図書館で読書を楽しむ子どもたち

■ 直接的に得られた成果

本プロジェクトの実施により下記の成果を得ることができました。

【直接的に得られた成果】

- 新校舎(1教室)が完成し、教室備品(机、いす、教師用机など)、運動場、フェンスが整備され、タクキエット小学校に通う64人の児童が、子どもにやさしい安全な学習環境で学べるようになった。
- 図書館が完成し、1080冊の書籍が支給され、子どもたちは童話や物語などに触れ、読書の習慣を身につけ、知識を広げることができるようになった。
- 5人の教師も図書館に支給された様々な書籍や学習教材を活用して、指導方法やスキル、知識を向上させることができるようになった。

■長期的に期待される成果

本プロジェクトの実現は、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) ※の目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に貢献します。

- 子どもたちの学習環境が改善し、教育の質の改善に寄与することができた。今後10年間で約150人の子どもたちが入学し、本プロジェクトで完成した新教室で学ぶことを見込んでいる。
- 長期的には、より多くの子どもたちが十分な知識を得て成長することにより、地域全体が貧困から少しずつ脱却していくことが期待できる。

※SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、2015年9月に国連の全加盟国193か国によって承認。2030年までに「誰も置き去りにせず世界から貧困を根絶する」こと、そして「地球を持続可能なものにする」ことを目指している。17の目標と169のターゲットから構成され、教育、保健・衛生、ジェンダー平等、雇用改善などとともに、気候変動、都市問題、生態系の保全、平和構築など、社会・経済・環境という3つの側面を含む包括的な内容となっている。プラン・インターナショナルはこのSDGsに呼应しながら活動を継続。

■プロジェクトの支出

「しょうがっこうをおくる会様のご支援のおかげで、新しい教室ができることをとても楽しみにしています。これまでは大雨が降ると茅葺屋根の古い教室は雨漏りがして危険なので、授業が中止になっていました」

（ハング、5年生、少数民族の女の子）

「このプロジェクトは、私たちが支援を必要としていた絶妙のタイミングで実施されました。老朽化した茅葺屋根の仮設教室は、いつ崩壊してもおかしくない状況でした。そのため、私たちは長年自治体に新たな教室建設のための予算割り当てを掛け合ってきましたが、要望がかなうことはありませんでした。また、貧しい生活を送っている住民たちには、壊れそうな教室を修繕するための資材を調達するだけの経済的な余裕もありませんでした」

（トルオン・ディン、教師）

「しょうがっこうをおくる会様による温かいご支援に心より感謝申し上げます。これまで、どんなに願っても新しい教室を建てるための資金を得ることができないでいた私たちにとって、この度のご支援は大きな助けとなります。老朽化した教室が万が一授業中に崩壊したら、子どもたちが負傷する危険をはらんでいるものの、他に学ぶ場所がないのが実情でした」

（ディン・カン、コミュン人民委員会委員長）

■ 問い合わせ先

■ プロジェクトに関するお問い合わせ
プログラム部 曾我 建太
TEL: 03-5481-6265／FAX:03-5481-6200
Email: kenta.soga@plan-international.jp

■ 入金・広報・その他のお問合せ
ファンドレイジング部 平田 泉
TEL: 03-5481-7100／FAX:03-5481-6200
Email: izumi.hirata@plan-international.jp